

事業コード	H24-農-継-06		区 分	国庫補助 県単独
事業名	かんがい排水事業		部局課室名	農林水産部 農地整備課
事業種別	かんがい排水事業		班 名	水利整備・防災班 (tel) 018-860-1830
路線名等	平鹿平野一期・二期		担当課長名	下山 昇
箇所名	横手市		担当者名	菊地 均
総合計画との関連	政策コード	02	政策名	融合と成長の新農林水産ビジネス創出
	施策コード	02	施策名	新農林水産ビジネスの展開を支える基盤づくり
	指標コード	02	施策目標(指標)名	水田フル活用の推進と生産基盤の整備

## 1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H27 (9年)		総事業費	33.3億円	国庫補助率	50%	
事業規模	全体面積A = 2,011ha 用水路工L = 18.3km(6路線)						
事業の立案に至る背景	<p>本地区の水路は、昭和40~53年に「県営かんがい排水事業」により整備されているが、国営かんがい排水事業の取水量増加に対応出来る水路断面が確保されていないほか、老朽化による機能低下がみられる。</p> <p>このため、本事業で水源転換に伴う取水量増加による断面不足の解消と老朽化の著しい区間を改修し、用水の適期適量供給と維持管理労力・経費の節減による農業経営の安定化を図る。</p>						
事業目的	用水路改修による用水の安定供給と維持管理費の節減を目指す。						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	3,430,000	3,325,000	-105,000			
	経費内訳	工事費	3,028,000	2,950,000	-78,000	請負差額による減	
		用補費	47,000	47,000	0		
		その他	355,000	328,000	-27,000	測量試験費の減	
	財源内訳	国庫補助	1,715,000	1,662,500	-52,500		
		県債	771,750	748,125	-23,625		
		その他	857,500	831,250	-26,250		
一般財源		85,750	83,125	-2,625			
事業内容	用水路工 L=18.3km	用水路工 L=18.3km	用水路工 L=0.0km				
事業の進捗状況	本地区は、平成19年度に採択され工事着工している。 平成23年度までに用水路総延長の71%(12.9km)が完成している。						
事業推進上の課題	当初の計画どおり(予定工期9年)、平成27年度完了の予定としている。						
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」(水田フル活用の推進と生産基盤の整備) 「ふるさと秋田農林水産ビジョン」(安定した農業用水を確保するための施設整備の推進)						
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	更新が必要な農業用用水施設の整備面積					
	指標式	農業用用水路の整備面積の実績 ÷ 更新が必要な農業用用水路施設の整備面積					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	2,011 ha		データ等の出典	H23年度までの実績		
	実績値 b	1,621 ha					
達成率 b/a	80.6 %		把握の時期	平成24年3月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	なし。
	指摘事項への対応
	なし。

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	本地区の用水は、国営幹線水路からの通水によりかんがいされているが、国営事業の水源転換に伴う取水量増加に対応出来る水路断面の確保と、老朽化区間の解消により、安定した用水の供給がなされ、生産性の向上と維持管理の節減が図られる。	5 点
緊 急 性	国営事業（完了予定年度平成 27 年度）の取水量増加への対応と、老朽化区間の機能低下により通水不能となった場合は、甚大な農業被害が発生する恐れがある。	10 点
有 効 性	用水の適期適量の供給 維持管理費の節減と農業経営の安定に寄与 本事業は、「ふるさと秋田元気創造プラン」の融合と成長の新農林水産ビジネス創出戦略を支える取り組みとして位置づけられている。	40 点
効 率 性	事業の費用便益費は 1.23 である。	8 点
熟 度	土地改良区総代会において、事業推進の議決が得られたうえで、事業申請されているほか、各年度の工事計画や箇所についても十分に協議しながら進めており、事業への理解を得ている。 環境配慮対策として、1 路線で魚類及び植物の生息環境を確保する工事を行っている。	28 点
判 定	ランク ( ) 事業判定ランク となっており、早期の事業完了に向けて継続すべきと考えている。	91 点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、完了に向けて継続することが妥当である。	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

安定的な用水供給等を図るため、必要な整備を継続していくとともに、工事の実施にあたっては環境配慮対策と一層のコスト縮減に努める。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 かんがい排水事業

事業コード (H24-農-継-06 )  
箇所名 (横手市 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 0	5	
	計		5	5	
	緊急性	事業未実施の影響			
緊急性	現況施設の状況	漏水、崩落があり、施設の機能低下が著しい 漏水、崩落があり、施設の機能がやや低下している 漏水、崩落があるが、施設の機能は維持されている	5 3 1	5	
	他事業との関連				
	周辺関連事業地区の有無	関連する他事業との調整で緊急性が高い 他事業はないが、単独で十分な効果がある	5 3	5	
	計		10	10	
有効性	整備の効果				
	農業経営の安定	維持管理費の節減が見込める 維持管理費の節減が多少期待できる 現状と変わらない	10 5 0	10	
	農業生産性の向上	農業生産性の向上効果が見込める 農業生産性の向上効果が多少期待できる 現状と変わらない	10 5 0	10	
	施設の維持体制	地域が一体となった維持管理体制の構築が見込める 維持管理体制の充実が見込める 現状と変わらない	10 5 0	10	
	上位計画への貢献度				
	ふるさと秋田元気創造プランでの位置づけ	戦略を支える取組として貢献度が高い 戦略を支える取組に間接的に貢献する 戦略を支える取組への貢献度は低い事業である	10 5 1	10	
	計		40	40	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1.0 以上 B / C = 1.0 未満	5 0	5	
	事業実施コストの縮減				
	対策内容	効果が発現している 実施している 検討中である	5 3 1	3	
計		10	8		
熟度	事業の推進				
	事業の同意状況	全員の同意が得られている 若干の未同意者がいるが事業実施に影響はない 未同意者がいるため事業実施に影響がある	5 3 0	3	
	前年度までの進捗比	計画より進捗している 概ね計画どおり (90%以上) 計画より遅れている (90%未満)	10 5 1	5	
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題は解決の見込みがなく、事業の停滞が予想される	5 3 0	5	
	他官庁との協議調整	協議・調整済みで事業推進に影響はない 協議・調整中であるが事業推進に影響はない 協議・調整中で事業推進に影響する	5 3 0	5	
	環境との調和への配慮状況				
	環境保全への配慮	十分に配慮している 配慮している 配慮が不十分である	10 5 0	10	
計		35	28		
合計			100	91	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		